

平成 22 年 9 月 30 日

各 位

会 社 名 セガサミーホールディングス株式会社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長
 里 見 治
 (コード番号 6460 東証第一部)
 問 合 せ 先 グループ代表室長兼グループコミュニケーション室長
 上 田 晃 一 郎
 (電話番号 03-6215-9955)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 7 月 30 日に公表した第 2 四半期連結累計期間業績予想ならびに平成 22 年 5 月 14 日に公表した通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間 連結業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 205,000	百万円 34,000	百万円 33,500	百万円 17,000	円 銭 67.48
今回発表予想 (B)	217,000	45,000	44,500	24,500	97.25
増減額 (B-A)	12,000	11,000	11,000	7,500	—
増減率 (%)	5.9%	32.4%	32.8%	44.1%	—
(ご参考) 前年同期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	154,395	△318	△729	△6,323	△25.10

平成 23 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 400,000	百万円 40,000	百万円 39,000	百万円 22,000	円 銭 87.33
今回発表予想 (B)	410,000	65,000	64,000	37,500	148.86
増減額 (B-A)	10,000	25,000	25,000	15,500	—
増減率 (%)	2.5%	62.5%	64.1%	70.5%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	384,679	36,712	35,925	20,269	80.46

【修正の理由】

(1) 第 2 四半期連結累計期間

遊技機事業において、パチスロ遊技機の稼動が回復傾向にある中、当社グループ製品の販売が好調に推移しており、第 2 四半期累計期間におけるパチスロ遊技機の販売台数は約 20 万台（前回発表予想 18 万台）となる見込みです。また、部材のリユースや部材調達コストの削減による原価低減に取り組み、利益率が改善いたしました。

以上の結果、第 2 四半期累計期間における連結売上高は 2,170 億円（前回発表予想と比較して 120 億円増加）、営業利益は 450 億円（前回発表予想と比較して 110 億円増加）、経常利益は 445 億円（前回発表予想と比較して 110 億円増加）、当期純利益は 245 億円（前回発表予想と比較して 75 億円増加）となる見込みです。

(2) 通期

第 2 四半期累計期間の業績進捗を受け、遊技機事業におけるパチスロ遊技機の通期販売台数を約 30 万台（前回発表予想 21 万台）、パチンコ遊技機の通期販売台数を約 36 万台（前回発表予想 41 万台）に見直し、また、部材のリユースや部材調達コストの削減による利益率の改善を見込みます。

コンシューマ事業においては、主に海外市場における新作タイトルの販売が軟調に推移するものの、アミューズメント機器事業、アミューズメント施設事業においては堅調な業績の推移を見込みます。

以上の結果、通期における連結売上高は 4,100 億円（前回発表予想と比較して 100 億円増加）、営業利益は 650 億円（前回発表予想と比較して 250 億円増加）、経常利益は 640 億円（前回発表予想と比較して 250 億円増加）、当期純利益は 375 億円（前回発表予想と比較して 155 億円増加）となる見込みです。

なお、平成 22 年 8 月 27 日付で公表した「セガサミーホールディングス株式会社による株式会社サミーネットワークス、株式会社セガトイズ及び株式会社トムス・エンタテインメントの株式交換による完全子会社化に関するお知らせ」に記載の通り、本株式交換に伴い、当社の連結財務諸表上のれん（又は負ののれん）が発生する見込みです。発生するのれん（又は負ののれん）の金額は現時点では未定であるものの、連結業績予想に与える影響は軽微であると見込んでおります。

※本資料内に記載した業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上